

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年12月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。） 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

第8期（決算日：2019年12月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型」は、去る12月27日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 騰 金 落	中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
4期(2015年12月28日)	16,799	0	2.1	0.0	—	—	97.0	3,255
5期(2016年12月27日)	15,213	0	△9.4	—	—	—	97.1	2,348
6期(2017年12月27日)	15,159	0	△0.4	—	—	—	97.1	1,565
7期(2018年12月27日)	15,327	0	1.1	—	—	—	95.1	1,162
8期(2019年12月27日)	14,796	0	△3.5	—	—	—	95.0	959

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	%	%
2018年12月27日	15,327	—	—	—	95.1
12月末	15,054	△1.8	—	—	94.9
2019年1月末	14,457	△5.7	—	—	95.0
2月末	14,648	△4.4	—	—	95.0
3月末	14,756	△3.7	—	—	95.0
4月末	15,209	△0.8	—	—	95.0
5月末	15,023	△2.0	—	—	94.9
6月末	14,490	△5.5	—	—	94.9
7月末	14,942	△2.5	—	—	95.1
8月末	15,134	△1.3	—	—	95.0
9月末	14,909	△2.7	—	—	95.1
10月末	14,821	△3.3	—	—	95.0
11月末	14,572	△4.9	—	—	95.0
(期 末)					
2019年12月27日	14,796	△3.5	—	—	95.0

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第8期：2018年12月28日～2019年12月27日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	15,327円
第8期末	14,796円
既払分配金	0円
騰落率	－3.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.5%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

貴金属市場やエネルギー市場の変動などが基準価額にマイナスに影響しました。

第8期：2018年12月28日～2019年12月27日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

先進国の株式市場は、米中通商協議の進展期待や、米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ、欧州中央銀行（E C B）の追加金融緩和への期待などから上昇しました。新興国の株式市場は上昇しました。

▶ 債券市況

米国の債券利回りはF R Bによる利下げなどから低下しました。欧州や日本でも債券利回りが低下しました。新興国の債券利回りも概ね低下しました。

▶ 商品市況

原油価格は、石油輸出国機構（O P E C）の加盟国を中心とした産油国の協調減産の延長への期待などから上昇しました。金価格は、主要通貨に対する米ドルの下落などから上昇しました。

▶ 為替市況

円は米ドル、ユーロなどに対して上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首から概ねマイナス0.15%前後で推移していましたが、2019年9月末に需給の引き締まりによりマイナス0.4%まで低下しました。その後上昇し、足下はマイナス0.11%程度で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）を95.0%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャー

ズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

わが国のコール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第8期
	2018年12月28日～2019年12月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,180

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。

マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投

資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ マネー・プール マザーファンド

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である２％には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびＣＰ現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行う方針です。

2018年12月28日～2019年12月27日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	182	1.229	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(81)	(0.544)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(97)	(0.653)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	2	0.011	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	184	1.240	

期中の平均基準価額は、14,824円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

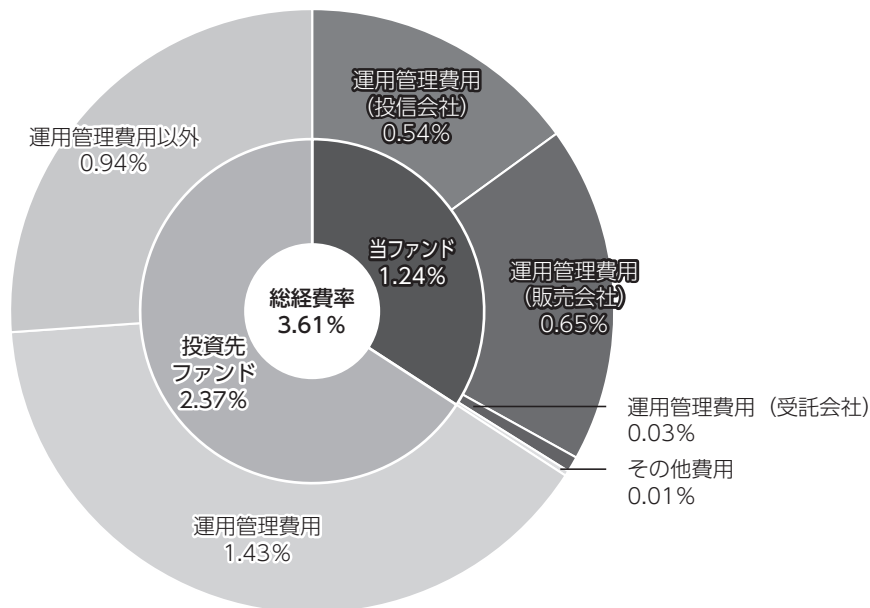
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.61％**です。



総経費率（①+②+③）	(%)	3.61
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.24
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.43
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.94

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月28日～2019年12月27日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内		千口	千円	千口	千円
	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)	15	26,400	116	191,800
		(△0.0636)	(ー)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月28日～2019年12月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年12月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)	648	548	911,445	95.0
	合 計	648	548	911,445	95.0

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 Q T Xーウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
	マネー・プール マザーファンド	99	99	99

○投資信託財産の構成

(2019年12月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 911,445	% 94.4
マネー・プール マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	54,200	5.6
投資信託財産総額	965,744	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年12月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	965,744,673
コール・ローン等	52,499,337
投資証券（評価額）	911,445,366
マネー・プール マザーファンド（評価額）	99,970
未収入金	1,700,000
(B) 負債	6,563,258
未払信託報酬	6,505,596
未払利息	75
その他未払費用	57,587
(C) 純資産総額（A－B）	959,181,415
元本	648,276,542
次期繰越損益金	310,904,873
(D) 受益権総口数	648,276,542口
1万口当たり基準価額（C／D）	14,796円

<注記事項>

- ①期首元本額 758,479,532円
 期中追加設定元本額 40,045,087円
 期中一部解約元本額 150,248,077円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,796円です。

②分配金の計算過程

項 目	2018年12月28日～ 2019年12月27日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	302,367,431円
分配準備積立金額	98,317,708円
当ファンドの分配対象収益額	400,685,139円
1万口当たり収益分配対象額	6,180円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2019年9月21日)

○損益の状況（2018年12月28日～2019年12月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 26,792
受取利息	189
支払利息	△ 26,981
(B) 有価証券売買損益	△ 19,510,163
売買益	7,027,265
売買損	△ 26,537,428
(C) 信託報酬等	△ 13,435,648
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 32,972,603
(E) 前期繰越損益金	17,531,589
(F) 追加信託差損益金	326,345,887
（配当等相当額）	（ 302,367,431）
（売買損益相当額）	（ 23,978,456）
(G) 計（D＋E＋F）	310,904,873
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	310,904,873
追加信託差損益金	326,345,887
（配当等相当額）	（ 302,367,431）
（売買損益相当額）	（ 23,978,456）
分配準備積立金	98,317,708
繰越損益金	△113,758,722

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型が投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）
形態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。
運用方針	ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。 【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追随すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。 【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
アレンジャー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設定日	2012年4月12日
会計年度	毎年1月1日から12月31日まで

※Q T X W C M G D P F u n dは日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n dへの直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N Gを通じて行われます。

Q T X W C M G D P F u n d

包括利益計算書、純資産変動計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2018年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

投資損益

純損益を通じて公正価値で測定する金融商品

Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る未実現損益の純変動 (205, 208)

Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る実現損益 (純額) 657, 463

デリバティブに係る未実現損益の純変動 355, 046

デリバティブに係る実現損益 (純額) (283, 422)

金融商品の償却原価

為替に係る未実現損益の純変動 137

為替に係る実現損益 (純額) (1, 615)

維持管理料の割り戻し 208, 060

受取利息 23, 963

投資純損益 754, 424

運用費用

運用受託報酬 310, 018

市場への接続費用 154, 892

ファンド管理報酬 83, 450

成功報酬 228

支払利息 4

その他の費用 220, 906

運用費用合計 769, 498

運用による純資産の増減 (純額) **US\$** (15, 074)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G *

2018年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品*

株式投資に係る未実現損益の純変動 (382, 385)

株式投資に係る実現損益（純額） 694, 259

デリバティブに係る未実現損益の純変動 (1, 567, 031)

デリバティブに係る実現損益（純額） 1, 556, 772

受取配当金 307, 354

スワップ取引による受取利息 383

支払配当金 (414, 366)

スワップ取引による支払利息 (28, 466)

金融商品の償却原価

為替に係る未実現損益の純変動 (26, 697)

為替に係る実現損益（純額） 5, 447

受取利息 485, 725

その他の収益 466

投資純損益 631, 461**運用費用**

支払委託手数料 71, 469

支払利息 13, 333

その他の費用 40, 368

運用費用合計 125, 170

源泉徴収税 54, 036

運用による純資産の増減（純額） **US\$** 452, 255

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「Q T X W C M G D P T R A D I N G」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 純資産変動計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2018年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首	37,025,444
運用による純資産の増減額	(15,074)
資本取引	
un-hedged redeemable preference shares 発行	227,297
un-hedged redeemable preference shares 償還	(5,401,797)
hedged redeemable preference shares 発行	177,202
hedged redeemable preference shares 償還	(6,408,379)
等化調整	16,901
	(11,388,776)
期末	US\$ 25,621,594
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 25,621,592

Q T X W C M G D P T R A D I N G

2018年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首	34,659,823
運用による純資産の増減額	452,255
資本取引	
redeemable preference shares 償還	(11,704,310)
	(11,704,310)
期末	US\$ 23,407,768
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 23,407,766

3. 投資概況

Q T X W C M G D P F u n d

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2018年12月31日)
Investment in Trading Fund	91.36%	23,407,766
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	1.23%	315,347
Total financial assets at fair value	92.59%	US\$ 23,723,113

Q T X W C M G D P T R A D I N G

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2018年12月31日)
<i>Derivative assets</i>		
CFDs	0.00%	—
Forward currency exchange contracts	0.16%	36,344
Futures contracts	2.51%	587,138
Total financial assets at fair value	2.67%	US\$ 623,482
<i>Derivative liabilities</i>		
CFDs	0.00%	—
Forward currency exchange contracts	0.05%	12,020
Futures contracts	4.13%	967,132
Total financial liabilities at fair value	4.18%	US\$ 979,152

投資概況（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G

為替のエクスポージャー

（2018年12月31日現在）

	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	36,349	(1,882)	34,467
British pound	75,007	(1,929)	73,078
Canadian dollar	—	(7,468)	(7,468)
Czech koruna	316	—	316
Denmark krone	3,896	(563)	3,333
Euro	47,633	(11,688)	35,945
Hong Kong dollar	2,283	—	2,283
Hungarian forint	—	(101)	(101)
Indian rupee	2	—	2
Indonesian rupiah	—	(4)	(4)
Israeli shekel	—	(4)	(4)
Japanese yen	29,776	(9,683)	20,093
Malaysian ringgit	9,982	—	9,982
New Zealand dollar	772	(147)	625
Norwegian krone	87	(1,367)	(1,280)
Philippine peso	—	(4)	(4)
Polish zloty	—	(87)	(87)
Russian ruble	1	—	1
Singapore dollar	—	(2)	(2)
South African rand	2,726	—	2,726
Swedish krona	6,300	(1,895)	4,405
Swiss franc	491	(81)	410
Taiwan dollar	2	—	2
Turkish lira	403	—	403
US\$	216,026	(36,905)	179,121

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2018年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 19-Mar 19	7	US\$ 2,390,573	36,344
Commodity futures contracts	Jan 19-May 19	154	7,067,862	344,846
Currency futures contracts	Mar 19	61	3,065,360	47,630
Index futures contracts	Mar 19	19	1,312,133	32,857
Interest rate futures contracts	Mar 19-Dec 21	274	66,470,311	161,805
CFDs	Current	261	3,831,620	—
US\$				623,482

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 19-Mar 19	7	US\$ 940,110	12,020
Commodity futures contracts	Jan 19-May 19	202	8,905,549	740,297
Currency futures contracts	Mar 19	91	10,820,675	129,856
Index futures contracts	Jan 19-Mar 19	18	1,828,612	37,085
Interest rate futures contracts	Mar 19-Dec 21	42	10,765,573	59,894
CFDs	Current	229	3,356,307	—
US\$				979,152

マネー・プール マザーファンド

《第20期》決算日2019年7月16日

[計算期間：2019年1月16日～2019年7月16日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月16日に第20期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%		%		%	百万円
16期(2017年7月14日)	10,046	△0.0	—	—	—	—	284
17期(2018年1月15日)	10,046	0.0	—	—	—	—	707
18期(2018年7月17日)	10,044	△0.0	—	—	—	—	210
19期(2019年1月15日)	10,043	△0.0	—	—	—	—	159
20期(2019年7月16日)	10,042	△0.0	—	—	—	—	147

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2019年1月15日	10,043	—	—	—	—	—
1月末	10,043	0.0	—	—	—	—
2月末	10,043	0.0	—	—	—	—
3月末	10,043	0.0	—	—	—	—
4月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
5月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
6月末	10,042	△0.0	—	—	—	—
(期 末)						
2019年7月16日	10,042	△0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

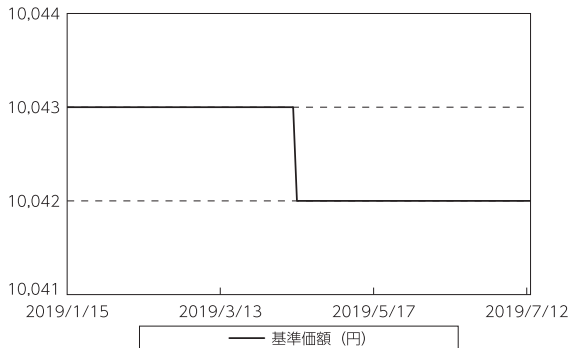
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬等コストが、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。
- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首に、短期国債の需給の引き締めからマイナス0.28%程度まで低下していましたが、その後は徐々に上昇していき、足下はマイナス0.15%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。

○今後の運用方針

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年1月16日～2019年7月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,042円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月16日～2019年7月16日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 12,099,991	千円 12,099,991

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月16日～2019年7月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年7月16日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 67.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2019年7月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 99,999	% 65.5
コール・ローン等、その他	52,704	34.5
投資信託財産総額	152,703	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	152,703,334
コール・ローン等	52,703,391
其他有価証券(評価額)	99,999,943
(B) 負債	5,088,743
未払解約金	5,088,516
未払利息	114
其他未払費用	113
(C) 純資産総額(A－B)	147,614,591
元本	146,998,909
次期繰越損益金	615,682
(D) 受益権総口数	146,998,909口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,042円

<注記事項>

- ①期首元本額 158,505,343円
 期中追加設定元本額 32,230,081円
 期中一部解約元本額 43,736,515円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0042円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マネー・プール・ファンドVI	67,368,357円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドV(年2回決算型)	16,516,958円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,980,331円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	2,639,752円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドX(年2回決算型)	2,252,879円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,994,907円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
マネー・プール・ファンドIV	976,673円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円

○損益の状況 (2019年1月16日～2019年7月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 17,314
受取利息	381
支払利息	△ 17,695
(B) 保管費用等	△ 113
(C) 当期損益金(A+B)	△ 17,427
(D) 前期繰越損益金	681,414
(E) 追加信託差損益金	138,453
(F) 解約差損益金	△186,758
(G) 計(C+D+E+F)	615,682
次期繰越損益金(G)	615,682

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
U S 短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	63,697円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349円
新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円

欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国成長株オープン	996円
合計	146,998,909円